

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-35 下水道使用料等賦課徴収事業 □支援部門					ザイムスコード及び個別事業名 532 下水道使用料等賦課徴収事業			
	主管課	下水道課		関連課					
分野名	下水道・河川								
目標 (目標値)	徴収率の向上								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	109,927千円	110,200千円			指標と評価			
	(国・県)					指標	下水道使用料徴収率		
	(負担金等)					評価	△		
	(一般財源)	109,927千円	110,200千円			◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人員配置数	2.4人	2.5人			目標値	実績値		
	人件費	21,274千円	22,373千円			20年度	100%	97.52%	
	協働の パートナー					21年度	100%	97.52%	
事務事業 運営経費	総事業費	131,201千円	132,573千円	対象者数(年度当初 水洗化人口) H20 153,716人 H21 154,608人		22年度	100%		
	市民1人当りの経費	743円	751円			23年度	100%		
	対象者1人当りの経費	849円	862円			最終年度 (年度)	100%		
ベンチマーク (県内外自治体や民間 団体との比較値)	団体名	平塚市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市				
	H20使用料 徴収率	97.77%	84.31%	98.00%	94.72%				
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・違反工事等により、使用料の賦課漏れが発生する。 ・上下水道システムの稼働時間が開庁時間内のため、入力・検証等事務の時間が限られている。							
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・使用料の賦課漏れについては上下水道システム及び水道営業所からの水栓開栓データ等により、 早期の処理を実施している。 ・事務の流れを工夫し、開庁時間内のシステム入力・検索により対応している。							
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・上下水道システム稼働時間の延長は、システムメンテナンス等の関係で実施されていない。							
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・引き続き各市町と連携して、神奈川県企業庁に稼働時間(時間外利用時間)の延長を求める。 ・滞納整理については、水道営業所と連携して追跡調査や情報提供等で対応する。							
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	下水道使用料は、県営水道料金との一括徴収委託によりコスト軽減及び徴収率の向上に取り組んできたが、今後とも適正化をめざす。			評価結果	改善の必要性	今後もより一層の効率化を進め、コストダウンに努めるとともに、使用料収入確保のため滞納整理を行い徴収率の向上を図る。		
A	有				A	有			
課長名	下水道課課長代理 小林 肇				部名・部長名	都市整備部 山内 廣行			